

札幌学院大学社会情報学部研究業績 (2006 年)

(共著者中の* は札幌学院大学社会情報学部教員を示す)

A : 著作・翻訳

A0601 祐成保志：住宅の所有形態と生活意識，(武川正吾編)福祉社会の価値意識——社会政策と社会意識の計量分析，第3章，東京大学出版会，pp.63-78，2006年2月。

A0602 高田洋：時系列データから社会現象を予測し原因を調べる：ARIMA モデル——アノミーと犯罪，日本数理社会学会監修・与謝野有紀・栗田宣義・高田洋・間淵領吾・安田雪編『社会の見方・測り方——計量社会学への招待』，pp.211-227，2006年7月。

A0603 山崎哲永：HSK (初，中等) 全攻略 (日本語訳部分監修)，赵菁主編，商務印書館，北京，2006年1月。

B : 雑誌

B0601 大國充彦，佐藤和洋，千葉正喜，長田博泰：詳説社会情報学部再編案，『社会情報』(札幌学院大学)，16巻1号，pp.121-137。

B0602 Hidekatsu Koike*, Kiyoshi Akama, and Hiroshi Mabuchi: Dynamic Interaction of Syntactic and Semantic Analyses Based on the Equivalent Transformation Computation Model, Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, Vol.10 No.3, 2006, pp.302-311.

B0602 Yoshinori Shigeta, Kiyoshi Akama, Hiroshi Mabuchi, and Hidekatsu Koike*: Converting Constraint Handling Rules to Equivalent Transformation Rules,

Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, Vol.10 No.3, 2006, pp.339-348.

B0603 Kiyoshi Akama, Ekawit Nantajeewarawat, Hidekatsu Koike*: Componentwise program construction: the equivalent transformation computation model versus the logic programming model, Proceedings of the 5th WSEAS International Conference on APPLIED COMPUTER SCIENCE (ACOS '06), Hangzhou, China, April 16-18 (2006) pp.141-146.

B0604 Kiyoshi Akama, Ekawit Nantajeewarawat, Hidekatsu Koike*: Componentwise Program Construction: Requirements and Solutions, WSEAS Transactions on Information Science and Applications, Issue 7, Volume 3, pp.1214-1221, (July 2006) (ISDN 1790-0832).

B0605 Kiyoshi Akama, Ekawit Nantajeewarawat, and Hidekatsu Koike*: Program Generation in the Equivalent Transformation Computation Model, in Sixth International Andrei Ershov Memorial Conference Perspectives of System Informatics (PSI '06) Preliminary Proceedings, Akademgorodok, Novosibirsk, Russia, June 27-30, 2006, pp.17-24.

B0606 Hidekatsu Koike*, Kiyoshi Akama, Hiko Morita*, Katsunori

- Miura: Using an Automatic Marking System for Programming Courses, Proc. of ACM Special Interest Group on University and College Computing Services (SIGUCCS) Fall 2006 Conference, pp.173-177, 2006 (Nov. 5-8, 2006, Edmonton, Alberta, Canada).
- B0607 齊藤たつき：忍び寄る監視・管理の影, 情報科学, 札幌学院大学情報科学研究所紀要, No.26, pp.7-11 (2006-3).
- B0608 祐成保志：テレビ研究における民族誌的アプローチの再検討, 社会情報 (札幌学院大学社会情報学部紀要), Vol.15, No.2, pp.133-158, 2006年3月 [2004・2005年度札幌学院大学研究促進奨励金の成果].
- B0609 高田洋, 「経済発展, 民主主義, 不平等——横断的国家データを用いた計量分析——」, 社会情報 (札幌学院大学社会情報学部紀要), 15, 1, 17-30頁, 2006年12月.
- B0610 高橋徹：日常生活とメディア・コミュニケーション——生活構造論の再検討——, 『社会情報』Vol.15, No.2, pp.119-131.
- B0611 高橋徹・祐成保志・中澤秀雄「札幌市民のメディア利用とテレビ視聴態度——札幌市民のくらしとテレビ調査2004」『情報科学』第26号, pp.13-30, 札幌学院大学情報科学研究所・札幌学院大学電子計算機センター.
- B0612 Shigeyoshi Aoyama, Hiroshi Masui, Michimasa Ohkubo, Koji Arai, Yoshihide Ohbayasi, Kiyoshi Kato, Masaki Chiba*: Development of Nuclear Reaction Data Retrieval System on IntelligentPad by JCPRG, CP769, International Conference on Nuclear Data for Science and Technology, pp.553-556, (2005).
- B0613 長田博泰：社会情報解析への一寄与——形式概念によるデータ解析, 『社会情報』(札幌学院大学), 15巻2号, pp.103-118
- B0614 新國三千代：社会情報学部における専門ゼミ生による障がい者を対象とする学習ツールの開発, 『社会情報』Vol.16, No.1, pp.101-106 (2006) [2004~2005年度は社会情報学部「特別推進研究費」, 2006年度は札幌学院大学「研究促進奨励金」(共同研究)を受けています].
- B0615 M. Alvioli, C. Ciofi degli Atti, and H. Morita*: A new realistic many-body approach for the description of high-energy scattering processes off complex nuclei, Int. J. Mod. Phys. B20, pp.5325-5329, 2006.
- B0616 C. Ciofi degli Atti, L.P. Kaptari, and H. Morita*: A Study of Final State Interaction in the ${}^3\text{He}(e,e'p){}^2\text{H}(np)$ and ${}^4\text{He}(e,e'p){}^3\text{H}$ Reaction, Proceedings of the 25th International Workshop on Nuclear Theory, DioMira, pp.277-285, 2006.
- C：講演・報告（口頭発表）**
- C0601 井上芳保：暴力とセックス依存を再考する, 第28回アルコール関連問題学会分科会7「クロスアディクションとどうつきあうか」, 2006年6月23日, 仙台国際センター.
- C0602 井上芳保：セラピー文化としてのセックス奉仕隊という実践——よりよい社会臨床の可能性を求めて, 第97回札幌学院大学社会情報学部談

- 話会, 2006 年 7 月 6 日, 札幌学院大学 C 館 4 階会議室.
- C 0603 大國充彦: キャンパス・セクハラの現状と基本的理解について — 学生の権利を守るために・被害に遭わないために —, 旭川工業高等専門学校講演会, 2006 年 3 月 17 日.
- C 0604 大國充彦: キャンパス・セクハラの現状と基本的理解 — 学生の権利を守るために・被害に遭わないために —, 北海道大学大学院理学研究院・理学院講演会, 2006 年 4 月 25 日.
- C 0605 大國充彦: メディアリテラシーって何?, 札幌市男女共同参画センター: ボランティア講座, 2006 年 5 月 19 日.
- C 0606 山之上卓(鹿児島大学), 中西通雄(大阪工業大学), 辰己丈夫(東京農工大), 村田育也(北海道教育大学), 榊田秀夫(京都工芸繊維大学), 市川本浩(奈良先端科学技術大学院大学), 江藤博文, 大谷誠(佐賀大学), 千葉正喜, 小池英勝(札幌学院大学): ACM SIGUCCS Fall 2005 Conference 参加報告 — 北米における大学 IT インフラ支援の状況 —, 情報処理学会研究報告 2005-DSM-040, 2006.3.
- C 0607 山之上卓(鹿児島大学), 中西通雄(大阪工業大学), 辰己丈夫(東京農工大), 村田育也(北海道教育大学), 榊田秀夫(京都工芸繊維大学), 市川本浩(奈良先端科学技術大学院大学), 江藤博文, 大谷誠(佐賀大学), 千葉正喜, 小池英勝(札幌学院大学): ACM SIGUCCS Fall 2005 Conference 参加報告, 情報処理学会研究報告 2005-CE-83, 2006.2.
- C 0608 高田洋: 経済発展と不平等における最適化装置としての民主主義, 第 54 回北海道社会学会大会, 北海学園大学, 2006 年 6 月.
- C 0609 高田洋: 民主化と所得の再分配 — 横断的国家データを用いた計量分析 —, 第 4 回福祉社会学会大会, 大阪市立大学, 2006 年 6 月.
- C 0610 長田博泰: 形式概念を用いたデータ解析 — 幼児の「発育行動記録」の分析を事例として, 第 11 回日本社会情報学会大会, 2006 年 9 月 13 日, 学習院大学.
- C 0611 皆川雅章, 小池英勝, 新國三千代, 渡邊愼哉, 中村永友, 石川千温, 梅田充, 中澤謙, 三浦憲一, 佐藤了: 教科「情報」から大学情報教育への接続における高大連携の試み, 2006 PC カンファレンス, 2006 年 8 月.
- C 0612 皆川雅章: 大学一般情報教育への CG 教育導入の可能性, 教育システム情報学会第 31 回全国大会, 2006 年 8 月.
- C 0613 皆川雅章: 工業製品 3 DCG コンテストへの取り組み, 2006 年度精密工学会北海道支部学術講演会, 2006 年 9 月.
- C 0614 C. Ciofi degli Atti, L.P. Kaptari, and H. Morita*: Hadron Propagation in Medium: the Exclusive Process $A(e,e'p)B$ in Few-Nucleon Systems, 5th International Conference on Perspectives in Hadron Physics “Particle-Nucleus and Nucleus-Nucleus Scattering at Relativistic Energies”, Trieste, Italy, May 22-26, 2006.
- C 0615 C. Ciofi degli Atti, L.P. Kaptari, and H. Morita*: A Study of Final State Interaction in the ${}^3\text{He}(e,e'p) {}^2\text{H}(np)$ and ${}^4\text{He}(e, e'p){}^3\text{H}$ Reaction, 25th International Workshop on

- Nuclear Theory, Rila Mountains, Bulgaria, June 26-July 1, 2006.
- C 0616 山崎哲永：日本北海道方言的两种去及物化结构，北京大学中文系，2006年3月11日。
- C 0617 山崎哲永：2005年度留研報告 昨日見てきた北京，札幌学院大学社会情報学部第96回研究会，2006年6月1日，札幌学院大学。
- C 0618 山崎哲永：2005年度留研報告 北京で生活する方法，北海道方言研究会第168回例会，札幌市北区民センター，2006年6月。
- C 0619 山崎哲永：自発から可能への意味派生モデル，第31回札幌学院大学言語学談話会，2006年7月28日，札幌学院大学。
- D：その他**
- D 0601 井上芳保：宮崎アニメを知識社会的に読み解く——『千と千尋の神隠し』を事例として，出張講義2006年11月1日，札幌開成高校
- D 0602 井上芳保：宮崎アニメを知識社会的に読み解く——『千と千尋の神隠し』を事例として，出張講義2006年11月14日，札幌清田高校
- D 0603 井上芳保：宮崎アニメを知識社会的に読み解く——『千と千尋の神隠し』を事例として，出張講義2006年11月17日，伊達緑ヶ丘高校
- D 0604 井上芳保：宮崎アニメを知識社会的に読み解く——『千と千尋の神隠し』を事例として，出張講義2006年11月20日，札幌北斗高校
- D 0605 大國充彦：野幌まちづくり協議会提言報告書，江別市，2006年3月。
- D 0606 祐成保志：サマリートーク，社会情報（札幌学院大学社会情報学部紀要），Vol.15, No.2, pp.71-75, 2006年3月。
- D 0607 祐成保志：日常生活とメディア利用，札幌学院大学社会情報学部・北海道文化放送共同企画調査——札幌市民のくらしとテレビ2005報告書，pp.35-61, 2006年7月[2005年度札幌学院大学研究促進奨励金の成果]。
- D 0608 祐成保志：「福祉」と「情報」の接点——本研究会の趣旨について，社会情報（札幌学院大学社会情報学部紀要），Vol.16, No.1, pp.95-100, 2006年12月[2004・2005年度札幌学院大学社会情報学部特別推進研究費の成果]。
- D 0609 高田洋：[中級] 質的データ分析入門，ICPSR 国内利用協議会・統計セミナー，東京大学，2006年9月。
- D 0610 高橋徹・祐成保志・中澤秀雄・UHB編成部：札幌市民のくらしとテレビ2005報告書。
- D 0611 山崎哲永：北京の生活(1)，札幌学院大学社会情報学部紀要，Vol.15, No.2, pp.177-188。
- D 0612 山崎哲永：留研でみた中国の大学事情～北京大学昼休みの鍋～，SGU学長室ニューズレター，No.9, 2006年7月20日，p.8，札幌学院大学。
- D 0613 山崎哲永：北京大学図書館における自動改札について，札幌学院大学図書館報『書林』第70号，pp.5-8。
- D 0614 山崎哲永：帰朝報告「北京で生活する方法」について，北海道方言研究会会報第82号，pp.25-35，北海道方言研究会。
- D 0615 山崎哲永：ほっかいどう方言はどんなことば？ 出張講義，2006年6月23日，石狩南高等学校。
- D 0616 山崎哲永：文章書きは学べる技術，札幌学院大学オープンキャンパス，2006年10月1日，札幌学院大学。